

ライオンから



ライオンは、「事業を通じて社会のお役に立つ」という創業の精神のもと、時代とともに変化する社会課題に対し、求められる社会的役割を認識し、応えつづけてきました。

今後も事業を通じて社会の持続的な発展に貢献するためには、CSRが経営に組み込まれていることが重要であると考えます。当社は、オールライオンのCSR重要課題を特定し、経営計画と連動した中期目標に基づき進捗管理をしています。

第三者所見で評価していただきましたが、海外グループ各社の定期的なCSR状況把握や情報共有を社内で体系化し、オールライオンのCSR実績の報告を拡充しています。

一方で、CSRに関するリスク面の把握および社会面の連携強化を目指し、今後もオールライオンのCSRマネジメントの強化をはかります。

また、当社のワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティへの取り組みについても評価していただきました。中でも、「介護に必要な期間取得できるショートタイムフレックス制度」の導入を先駆的な挑戦とご紹介いただきました。CSR経営の中核である従業員が、仕事と介護・育児などを両立しながら安心して働くことを目指し、ライフステージに応じた制度の拡充を積極的に進めると同時に、制度を取得しやすい職場風土づくりにも取り組んでまいります。

水資源について、地域に根ざしつつ、製品の企画・開発から生産、使用に至るまで多角的に考慮することが求められる、とアドバイスをいただきました。当社は、ライフサイクル全体での水資源保護活動に取り組んでおり、節水型製品の企画・開発から生産工場における排水のリサイクル、生活者の皆様への「水の大切さ」の啓発を推進しています。

また、より高い環境目標の検討についてご指摘いただきました。進捗が進んでいる項目の更新を含め、今後パリ協定やSDGsなどの社会情勢をふまえた、人々の暮らしの中で貢献できる長期的な環境目標を検討していきます。

一人ひとりの価値ある未来に向けて、健康で快適な暮らしを守る活動を続けるとともに、ステークホルダーの皆様との対話により、社会課題を的確にとらえ、当社の社会的な責任を果たしてまいります。



取締役
CSR担当役員

小林 健二郎

編集後記

当社は、海外グループ会社を含む、オールライオンでのCSR活動の体系化を進めています。

CSR報告書2017およびWebページにて、海外でのCSRの取り組みについて、情報開示をさらに拡充しました。その一つが、2016年のハイライト「ライオングループの国内外での衛生習慣啓発活動」です。アジア各国で『キレイキレイ』ハンドソープを通じて行っている手洗い啓発活動について紹介しています。

ライオングループが、アジアの各国・地域で行っている社会貢献活動については、Webページにて詳しくご紹介しています。あわせてご覧いただければ幸いです。



Network Japan
WE SUPPORT



ライオンは先進的な環境への取り組みが評価され、環境大臣より「エコ・ファースト企業」として認定されています。

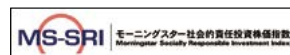


環境にやさしい商品開発を推進し、消費者にやさしい商品を提供しています。



FTSE4Good

当社はグローバルな社会的責任投資指標であるFTSE4Good Global Indexに選定されています。



モーニングスター社会的責任投資評価指数
Morningstar Socially Responsible Investment Index



読みやすさを追求した書体